

農地のマッチング活動

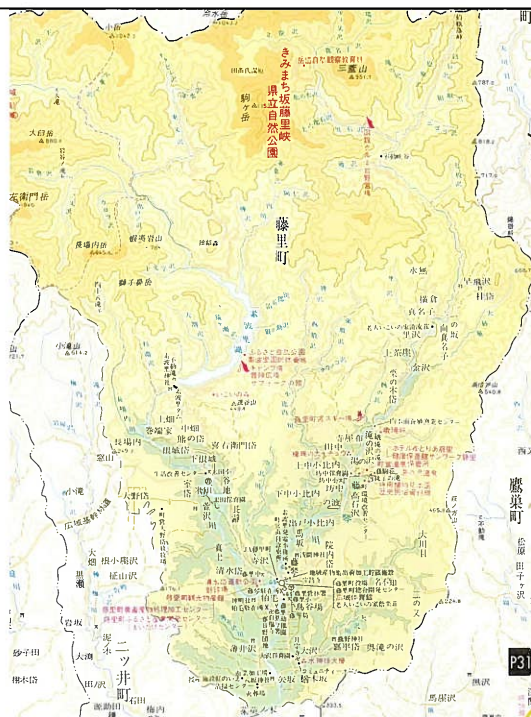
平成28年7月25日
公益社団法人秋田県農業公社

- 1 農地利用状況調査（マッチング活動の最初）のきっかけ
受け手からの【農地の状況は？】漠然とした問いかけ
- 2 担当市町村（能代市、藤里町、八峰町）をくまなく踏査
- 3 各市町村の特色をとりまとめて報告
- 4 受け手の評価 【 藤里町もなんかいいな 】

この調査仕事は一旦終了

藤里町

山間地域指定



藤里町の農地利用の特色

- 1 三本の大きな沢部は区画整理とともに
担い手に集約しながら集積 **不耕作が見えない**
- 2 段丘を登ると低利用地が見られるようになる。
一団地と見ると以外と広い **そして平ら**
- 3 頂き部はとても広く平ら

粕毛 川沿



大沢
川沿



藤琴
川沿



粕毛
上
大野岱



粕毛
上
大野岱



藤琴
上
院内岱



粕毛
奥
伐採跡地



マッチング(お見合い)情報

所有者、これまでの耕作者、遊休化の理由、

広さ・集約度、傾斜、土質、日射、

水まわり（権利、施設）、道路、前作、

隣接・周辺の農地との関係等

再利用ための作業

- ・遊休化すると植生が変化し、雑草除去や耕起が必要
- ・遊休化の前作が収奪的に行われている場合や土壌の経年的劣化等により、土壌改良への対応が必要
- ・その他(利便性を高めるための施設の設置など)

(遊休化を未然防止することが重要)

再利用のための経費支援

費用負担が発生する場合は以下の事業導入を検討

- ①耕作放棄地再生利用交付金
- ②元気な中山間応援事業
 - ・中山間水田畑地化整備事業
 - ・中山間資源を活かす生産体制整備事業
 - ・中山間6次産業化モデル事業
 - ・売れる地域特産物づくり推進事業
- ③未来にアタック農業夢プラン応援事業
- ④農地耕作条件改善事業
- ⑤その他(市町村の農機貸出事業等)

中山間地域の遊休農地を加工用野菜畑に活用する取組

(公社が独自に、中山間地の耕作放棄地を農地中間管理事業（以下、事業）により、野菜加工事業者にマッチングさせた事例)

出し手 中山間地域の自治会

これまで

- ・集落に隣接する畑用農地3.6haを所有して貸出

◎現状・課題

- ①連作障害や経営中止など受け手側の都合で貸出期間が安定せず、耕作放棄状態
- ②草刈り等の維持管理費が掛かり増し

◎希望

- ①耕作者の都合に左右されない安定した借受者に長期間貸したい
- ②自治会のみんなが納得できる借受者に貸したい
- ③安定した賃料収入を得たい

公社からの提案と活動

出し手に

- ①関係者への事業説明
- ②作物は地域振興を担っている加工用ダイコンを提案
- ③利用者は地元の事業者を提示
- ④受け手が決まるまで公社が保全管理

マッチング活動

受け手に

- ①対象地の栽培適性等を調査説明
- ②農地の拡大による地力増進作物を用いた輪作体系を提案
- ③地域の畑地造成の情報を収集し、安価な工事方法を提案
- ④事業実施と関係制度との調整
- ⑤関係者との連絡調整

受け手 地元の漬物事業者

これまで

- ・耕作規模 4haで加工用ダイコンを生産
- ・連作障害を回避するために、5年ほどで畑を換えてきた

◎現状・課題

- ①畑を換えるたびに栽培面積が変わる
- ②耕作3年目から連作障害が見られる
- ③新たな畑の確保のために、地権者との交渉が頻繁に必要
- ④新たな畑を確保したばかり
- ⑤畑地用に整備するための工事に多額の出費

◎希望

- ①効率的に利用できる排水性などの条件の良い一団の畑が必要
- ②地権者との交渉のない農地確保
- ③安価な畑地造成



H26 降雪前



H27 公社による保全管理



H27 来年作付けに向け耕起

耕作放棄地の解消、里山景観の維持保全、米以外の作物振興、6次産業化振興、地域雇用の確保、中山間地域の活性化